

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	山間地の高齢者と若者をつなげる支援プロジェクト
事業主体 (連絡先)	特定非営利法人 翔和学園 長野翔和学園 長野市若里7-1-7 長野県社会福祉総合センター1F
事業区分	地域協働の推進に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	419,120円 (うち支援金: 316,000円)

事業内容

長野市小田切地区は、高齢者の限界集落であり、平成29年3月末に長野市の「生きがいディサービス」も終了してしまったことから、少しでも高齢者に生きがいを見出して頂く為に発達障害の若者たちとの交流を企画したものである。

- (1) 農業によるふれあい (7月～10月)
- (2) 料理教室 (9月～3月)
- (3) イベント (運動会・文化祭・成人式・卒業式)
- (4) 公的な部分の雪かき



【料理教室】

【目標・ねらい】

- ① 発達障害の若者が来ることを知ってもらう
- ② 一緒に活動することに喜びを感じてもらう

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

① 少しづつではあるが、発達障害の若者が定期的に小田切地区にきていることは知られるようになり、応援や協力してくれる方(高齢者)が出てきた。

② 一緒に活動することでこの若者たちに何かしてあげたいという声の一部ではあるが、上がってきている。そういった声を大切にして地元の方がの生きがいを見出していきけるきっかけが見出すことが出来た。

※自己評価【C】

【理由】

・農業は天候に左右されることが多く、開催日時が直前で変更があり参加者が少なかった為。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

今後もこの活動を地道に継続していく。やはり地元の方々に協力・応援して頂く為には信頼関係や誠意が大切です。この若者たちと一緒にやっていきたいと感じたり、思っ頂けるように定期的に地道に活動を継続して行っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある